

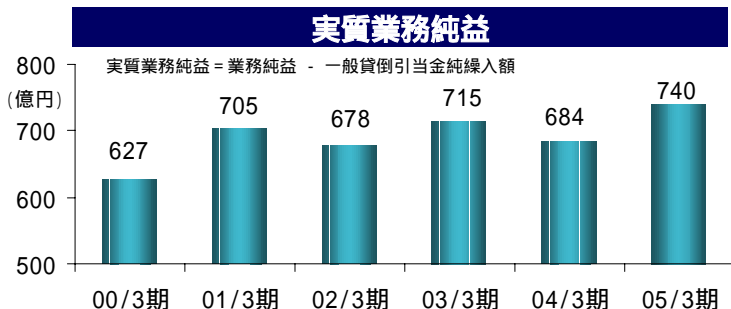
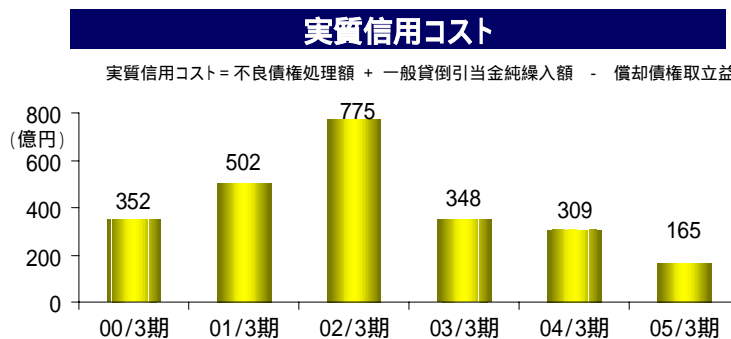
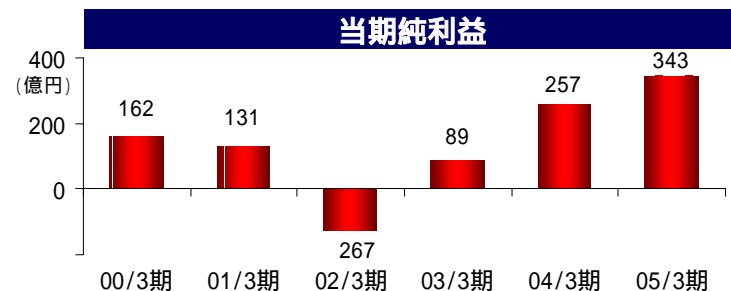
2004年度決算説明会

2005年6月2日
株式会社 **千葉銀行**

はじめに

前中期経営計画「創造とスピードの100週間」の最終年度でありました2004年度は、資金利益を中心とした業務粗利益の増加により実質業務純益は740億円と過去最高となりました。また、信用コストの減少等により経常利益578億円、当期純利益343億円と共に過去最高を更新し、前中期経営計画の計数目標も概ね達成することができました。

今後の経営環境の変化を見据え、当行グループが将来に向かって成長しつづけるため、本年4月より新たな中期経営計画「『価値創造』へ向けて 挑戦と革新の100週間」をスタートさせました。本日は前中期経営計画の結果についてご報告するとともに、この新たな中期経営計画に基づく当行の戦略についてご説明いたします。



目次

第1章 2004年度決算概況

決算概要 P/L	4
決算概要 B/S	5
決算概要 連結	6
2005年度 業績予想	7

第2章 創造とスピードの100週間の実績

高い収益性実現のために	9
創造とスピードの100週間の実績	10
経済的付加価値の増加	11

第3章 「価値創造」へ向けて 挑戦と革新の100週間

新中期経営計画『骨子』	13
収益増強計画	14
貸出利鞘と信用コスト	15
経営資源の最適配分	16
個人部門	17
住宅ローン	18
投資型金融商品	19
投資型金融商品の成長に向けて	20
クレジットカード	21
法人部門	22
貸出業務	23
マーケット部門	24
価値創造へ向けて	25
経費の削減	26
金利上昇リスクへの備え	27
不良債権問題への取組	28
健全な財務体質の維持・向上	29

2004年度決算概況

決算概要 P / L

実質業務純益、経常利益、当期純利益で過去最高

<億円>	04/3期	05/3期	増減額
業務粗利益	1,425	1,478	53
uf 資金利益	1,208	1,237	29
uf 役務取引等利益	168	170	2
経費	741	737	3
uf 人件費	371	360	10
uf 物件費	332	337	4
実質業務純益	684	740	56
コア業務純益	672	718	46
一般貸倒引当金純繰入額	0	17	16
業務純益	684	758	73
臨時損益	281	180	101
uf 不良債権処理額	310	236	73
uf 株式等関係損益	14	41	27
uf 年金処理	20	9	10
経常利益	403	578	174
特別損益	44	55	10
uf 償却債権取立益	0	53	53
uf 代行部分返上益	49	-	49
当期純利益	257	343	85

資金利益

<億円>	05/3期	
		増減
資金利益	1,237	29
国内業務	1,201	14
国際業務	35	14

役務利益

<億円>	05/3期	
		増減
役務取引等収益	290	12
うち投信+年金	70	10
役務取引等費用	120	10
うちロ-ン関連手数料	76	6
合計	170	2

実質信用コスト

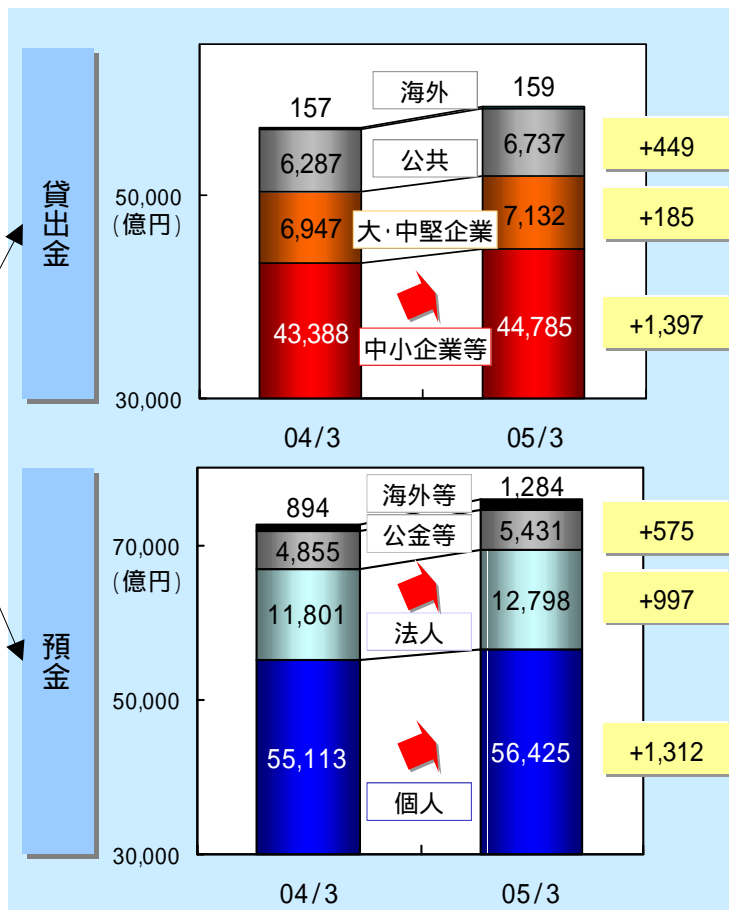
<億円>	05/3期	
		増減
一般貸引純繰入額	17	16
不良債権処理額	236	73
債務者区分悪化	260	4
担保	86	5
回収等	110	74
償却債権取立益	53	53
合計	165	143

04年12月
担保評価厳格化

決算概要 B / S

預金、貸出金ともに増加

<億円>	04/3	05/3	増減額
資産の部	82,178	86,987	4,809
当 現金預け金	2,813	4,935	2,121
コールローン	1,726	219	1,506
貸出金	56,781	58,814	2,033
有価証券	14,587	17,105	2,518
繰延税金資産	733	506	226
負債の部	78,374	82,907	4,533
当 預金	72,664	75,940	3,275
譲渡性預金	994	1,037	43
資本の部	3,803	4,079	275
当 資本金	1,210	1,210	-
資本剰余金	981	981	0
利益剰余金	1,191	1,472	281

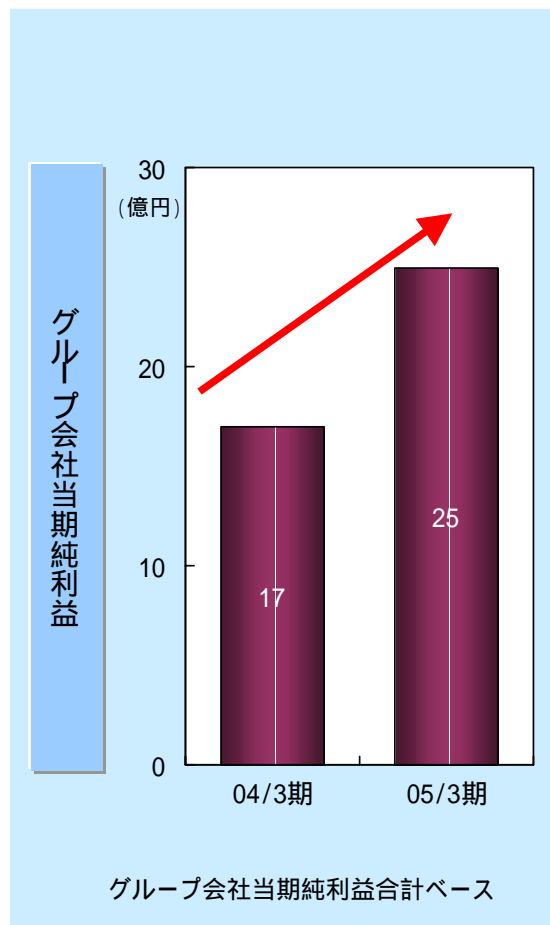


決算概要 連結

グループ会社業績についても堅調に推移

<億円>	連結		連単差額
	05/3期	単体	
経常収益	2,119	1,806	312
ウチ 貸出金利息	1,173	1,147	26
役務取引等収益	383	290	92
経常費用	1,501	1,228	273
経常利益	617	578	39
当期純利益	363	343	20

業務	社名	特長
証券	中央証券	千葉県内に12店舗を有し県内株式売買高シェアトップクラス 稼動口座数約50千口座
カード	ちばぎん JCBカード	JCB最大の地銀フランチャイジー カード発行枚数約28万枚 加盟店数1万3千店
	ちばぎん DCカード	カード発行枚数約18万枚 加盟店数2万店
リース	ちばぎんリース	契約残高約517億円 リース業務強化により更なる収益拡大を指向
システム開発	ちばぎんコンピューターサービス	積極的に外販先を開拓してきた結果、地元自治体や地元企業などの外販比率は約85%。
情報・調査コンサルティング	ちばぎん総合研究所	千葉県内における唯一のシンクタンク 県内有力企業を中心に会員数約6千先



2005年度 業績予想

更なる収益の拡大を目指す

<億円>	05/03期 (実績)	06/03期 (予想)
業務粗利益	1,478	1,500
うち 資金利益	1,237	1,260
うち 役務取引等利益	170	175
経費	737	760
うち 人件費	360	360
うち 物件費	337	360
実質業務純益	740	740
経常利益	578	620
当期純利益	343	370
実質信用コスト	165	100
連結経常利益	617	670
連結当期純利益	363	400

実質業務純益 = 業務純益 - 一般貸倒引当金純繰入額

実質信用コスト = 不良債権処理額 + 一般貸倒引当金純繰入額 - 償却債権取立益

創造とスピードの100週間の実績

高い収益性実現のために

中期経営計画「創造とスピードの100週間」に基づく主要施策

個人ビジネスの 更なる強化

- ✓03/12 県内大学と教育ローン提携実施
- ✓03/12 長期外貨定期預金取扱開始
- ✓03/11 資産運用相談コーナー設置開始
- ✓03/10 ローンプラザ等増設
- ✓03/10 カードローン電話・ファックス積極活用
- ✓03/6 リスク限定型株式投信投入
- ✓03/4 資産運用セミナー開催

中計
スタート
(03/4)

- ✓05/3 ラッキーバースデー外貨預金取扱開始
- ✓05/2 決済用普通預金取扱開始
- ✓05/2 証券仲介業務への参入
- ✓04/10 成田空港支店開設
- ✓04/10 ATM稼働時間延長
- ✓04/10 コンサルティング・プラザ開設
- ✓04/5 カード発行機設置開始
- ✓04/4 ローンセンター4か所増設
- ✓04/3 千葉県版CLO投信販売
- 05/2 第2回千葉県版CLO活用融資アレンジ
- 05/2 サービスエース取扱開始
- 05/2 決済用普通預金取扱開始
- 05/1 ちばぎんITフォーラム開催
- 04/10 市川に地区法人営業部設置
- 04/9 千葉市給食センターPFIアレンジ
- 04/9 新株予約権付協調融資を実施
- 04/7 スパート3000取扱開始
- 04/3 第1回千葉県版CLO活用融資アレンジ
- 04/2 ビジネスローン改定
- 04/1 支店長決裁権限拡大
- 03/10 ダッシュ5000取扱開始
- 03/10 地区法人営業部設置
- 03/6 市川市中学校・ケアハウスPFIのアレンジ
- 03/6 法人ビジネスセンター設置
- 03/4 県内店、新規専担者配置
- (02/12 都内店、新規専担者配置)

法人ビジネスの 再構築

創造とスピードの100週間の実績

ほぼ全ての項目で目標を達成

創造とスピードの100週間

経営指針

最も質の高い「地域の総合金融サービスグループ」

主要課題

持続的な収益力強化

経営システムの変革

経営指標	05/3目標	05/3実績
連結当期純利益(億円)	300	363
実質業務純益*1(億円)	730	740
OHR	50%程度	50.80%
当期純利益ROA *2	0.3%以上	0.41%
当期純利益ROE *3	7%程度	8.41%
Tier 比率	7%以上	7.21%

*1 実質業務純益 = 業務純益 - 一般貸倒引当金繰入額

*2 当期純利益ROA = 当期純利益 ÷ 総資産平残(除 支承)

*3 当期純利益ROE = 当期純利益 ÷ 期末資本の部

連結当期純利益以外は全て単体ベース

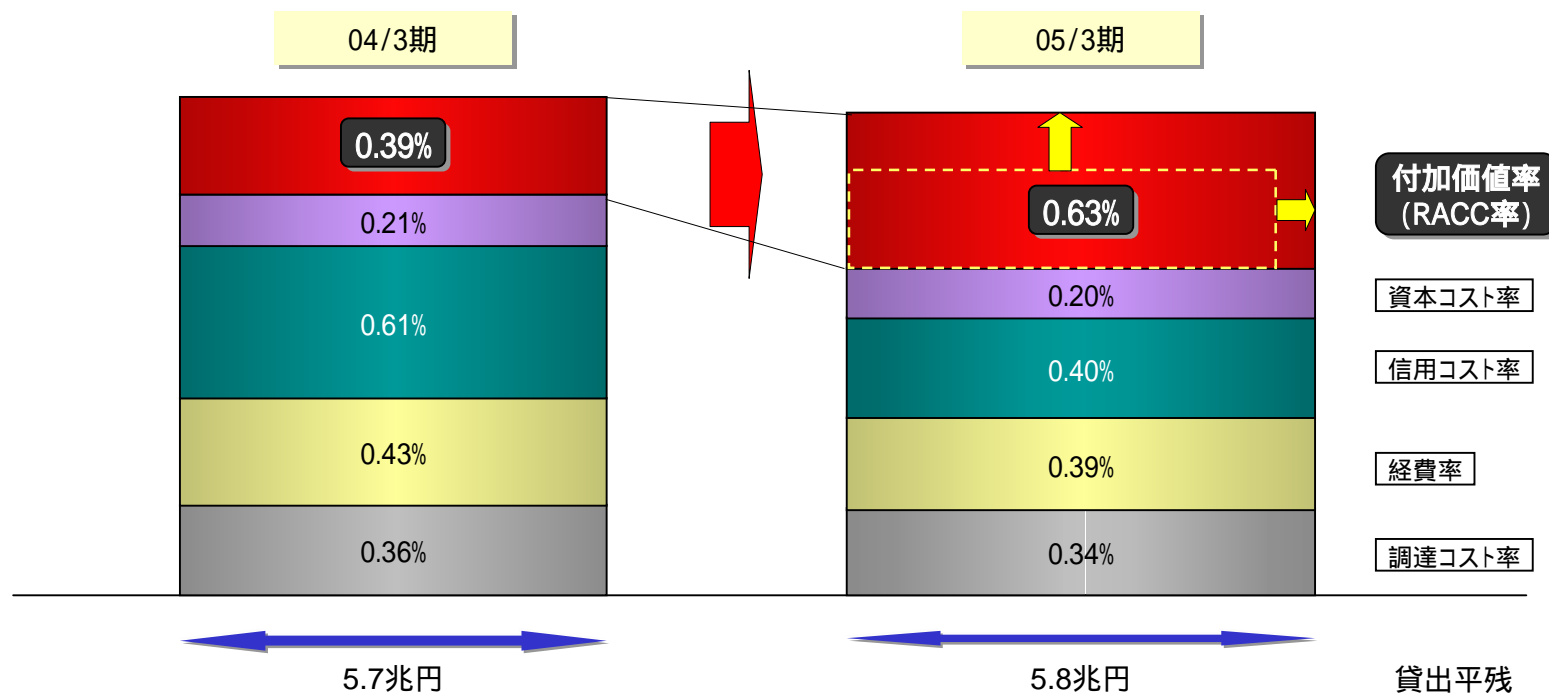
経済的付加価値の増加

資本コスト控除後純益の着実な増加

資本コスト控除後純益 (RACC) の推移

04/3期 05/3期

RACC(ラック) = Return After Capital Cost



「価値創造」へ向けて

挑戦と革新の100週間

新中期経営計画『骨子』

進化しつづける「地域の総合金融サービスグループ」の実現

中期経営計画：「価値創造」へ向けて 挑戦と革新の100週間

主要課題

ゆるぎない営業基盤の確立

個人部門: 規制緩和等の環境変化を踏まえ、お客様にとってベストの商品・サービスをベストのタイミング、ベストのチャネルで提供する
 法人部門: お客さまニーズを的確に把握し、資金提供をはじめトータルソリューションを迅速に提供する
 マーケット部門: マーケット運用力を一段と強化する

経営システムの不断の变革

ガバナンス態勢・コンプライアンス態勢・リスク管理態勢を高度化する
 機動的に経営資源を配分する
 スリムで強靱な経営体質を維持する
 戦略的な収益管理を実践する

市場優位性・持続的収益力・ブランド力 の飛躍的向上

目標

連結当期純利益

単体業務純益

ROA

ROE

OHR

Tier 比率

06/3期

380億円

740億円

0.4%程度

8.0%以上

50%程度

8%程度

07/3期

440億円

810億円

0.4%以上

8.5%以上

50%未満

8%以上

5年後のありたい姿

560億円

1,000億円

0.5%

10%

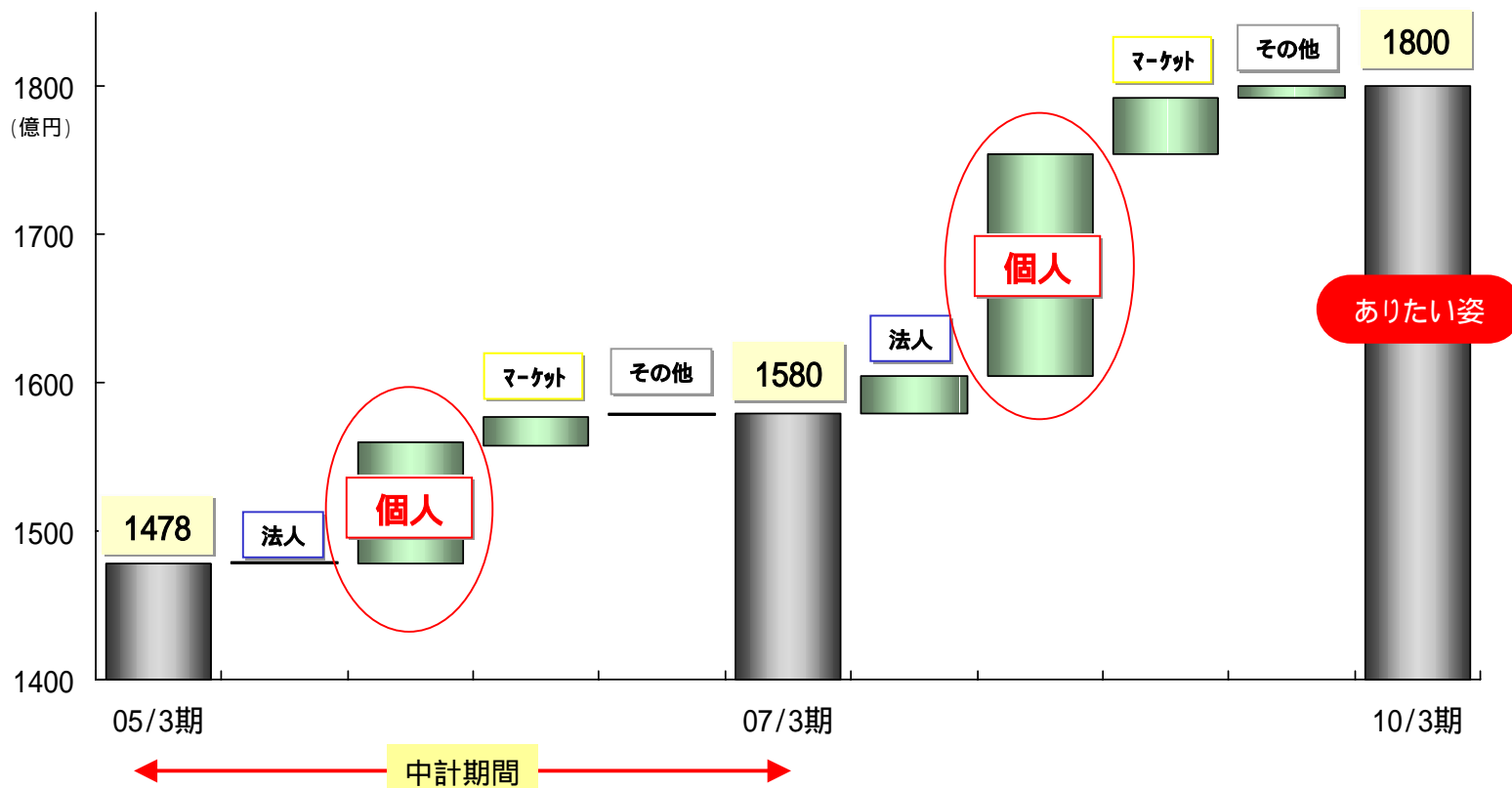
45%

8%

収益増強計画

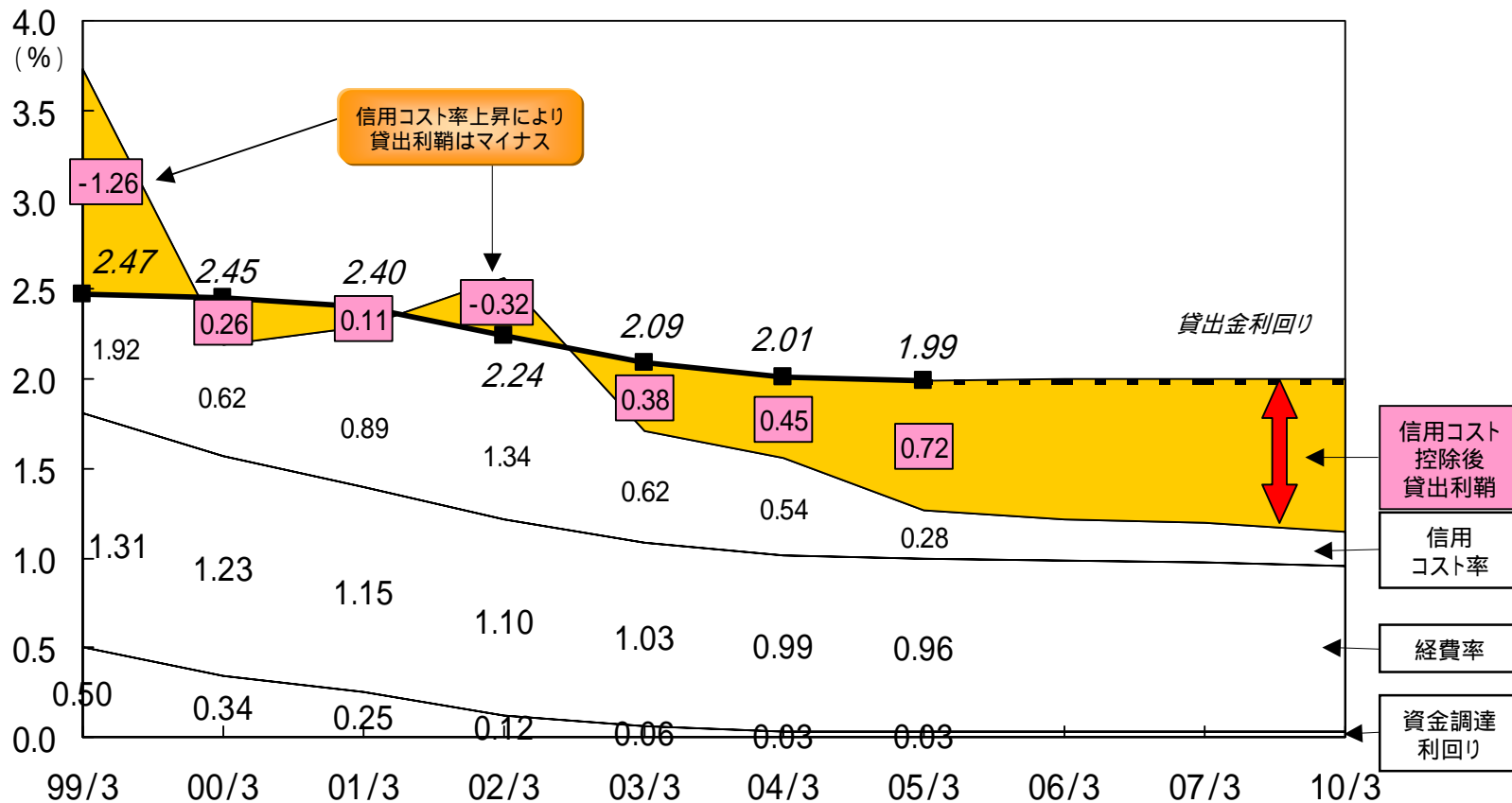
ありたい姿に向かって個人部門を中心に収益の増強を図る

部門別粗利益増減要因



貸出利鞘と信用コスト

信用コスト控除後の貸出利鞘は拡大へ

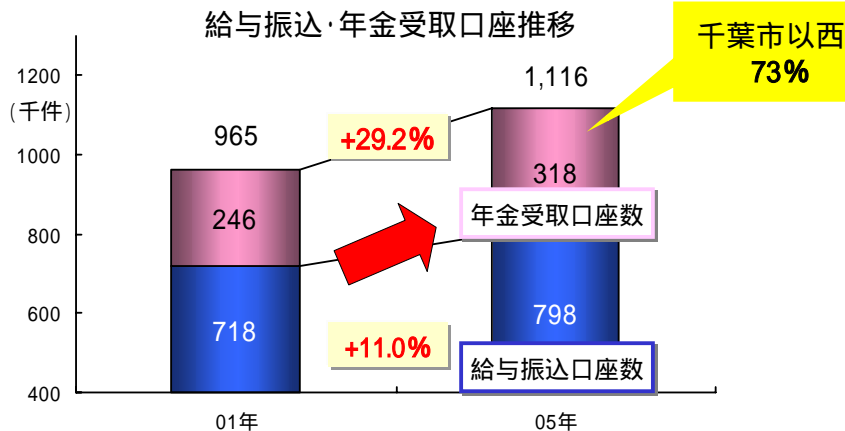
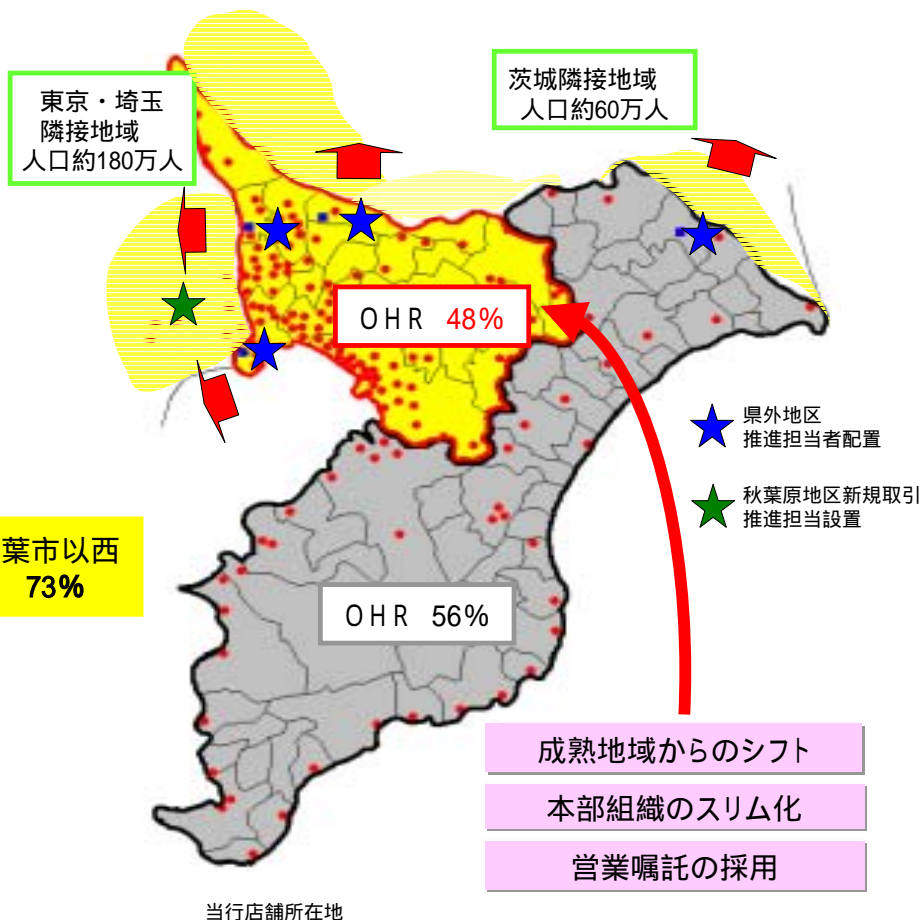
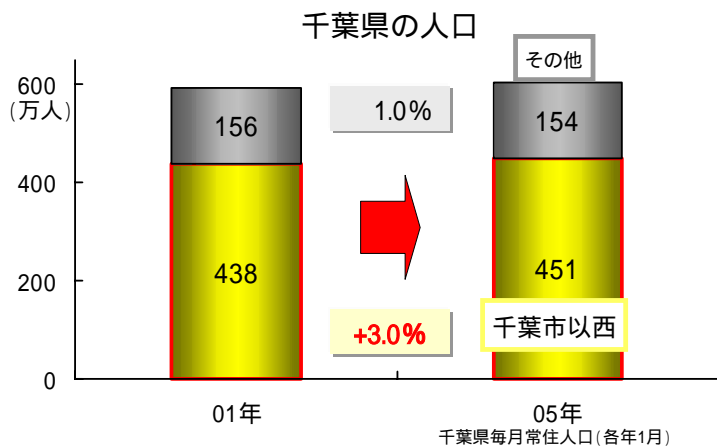


国内業務部門
05/03より信用コスト率は貸出金未残と実質信用コストより算出

中計期間

経営資源の最適配分

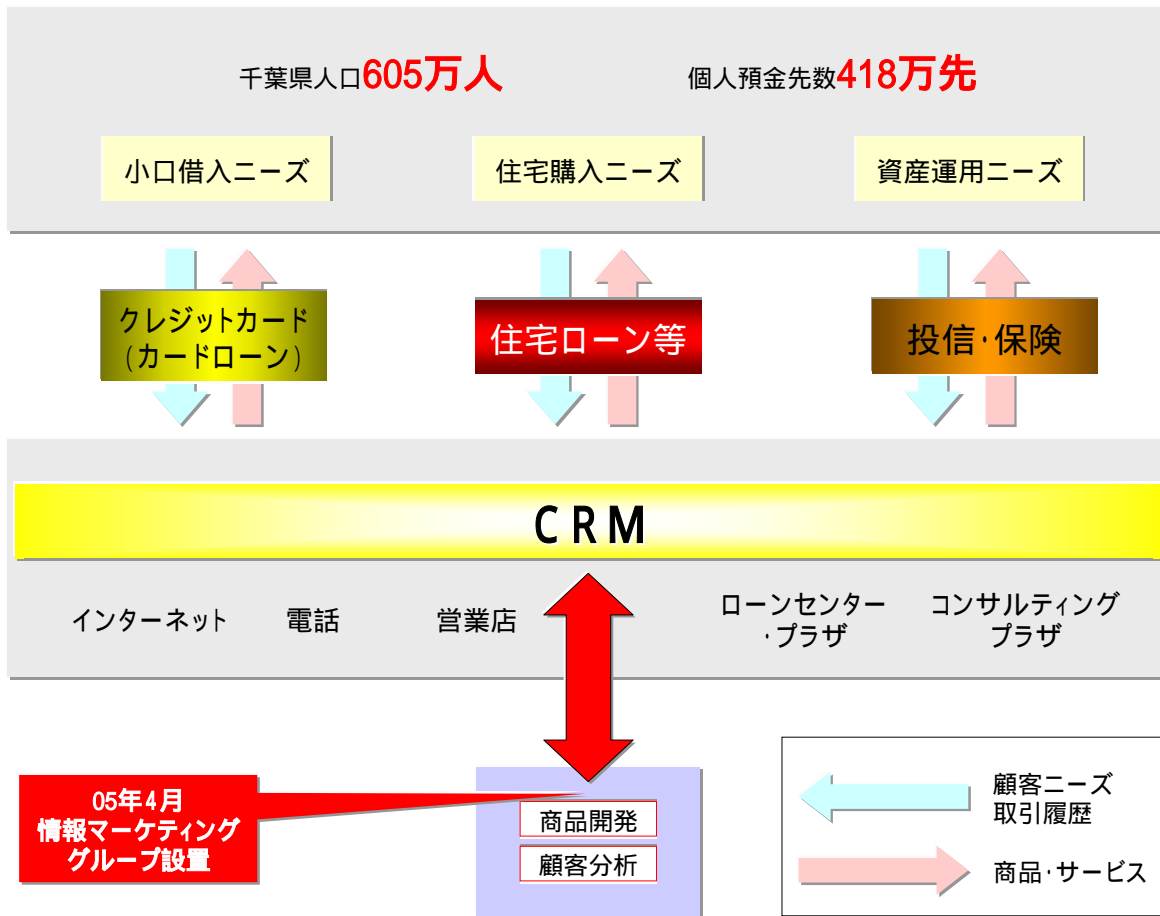
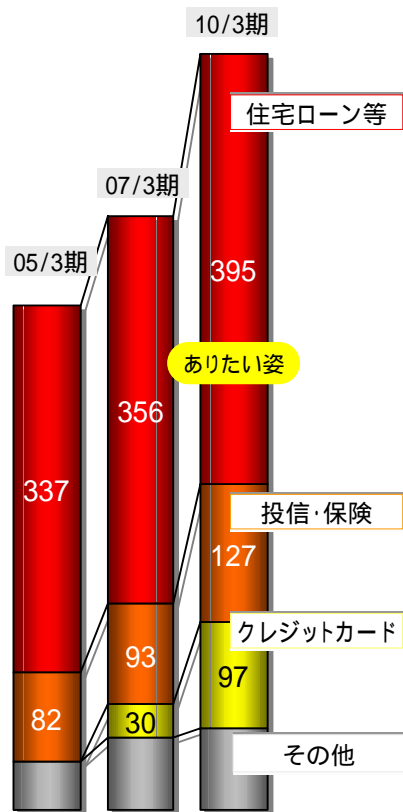
成長性のある地域へ経営資源の配分を行う



個人部門

顧客ニーズを把握し最適な商品・サービスを最適なチャネル・タイミングで提供

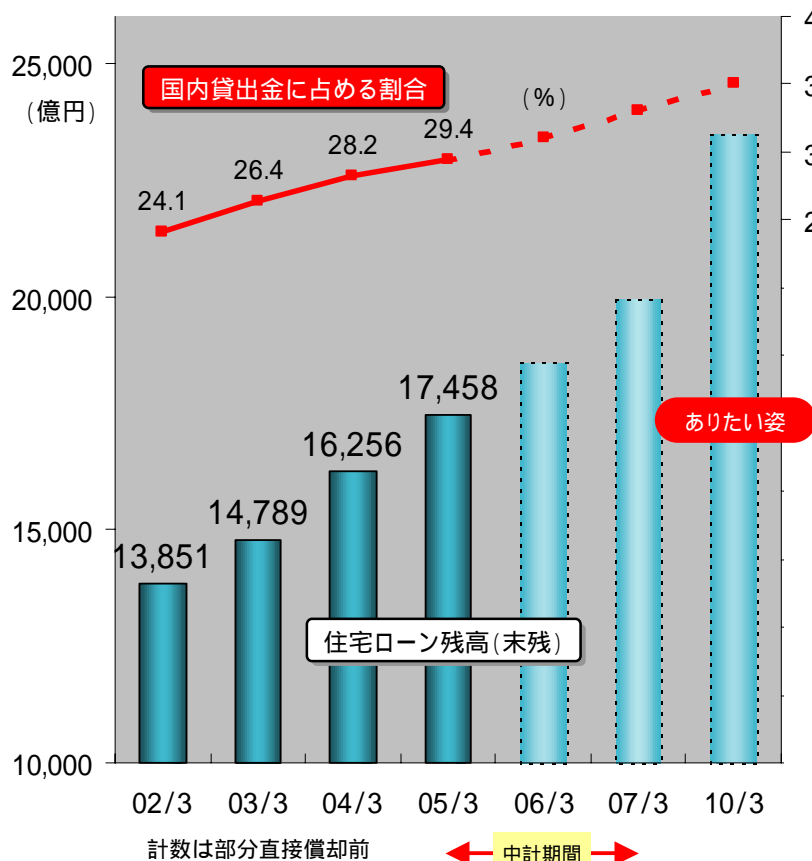
個人部門業務粗利益内訳 (億円)



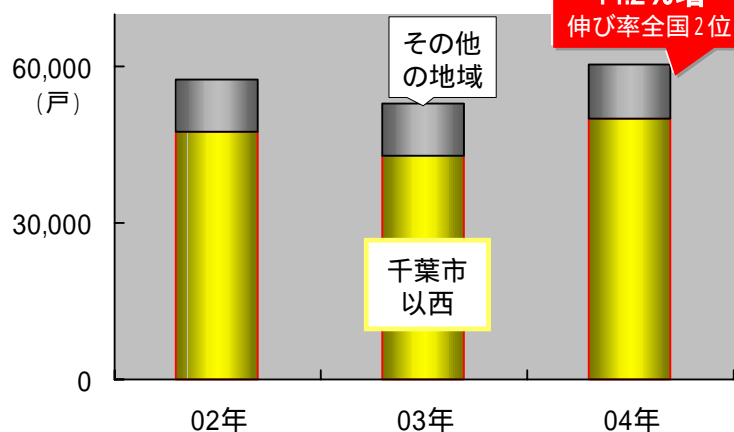
住宅ローン

住宅ローン残高は着実に増加

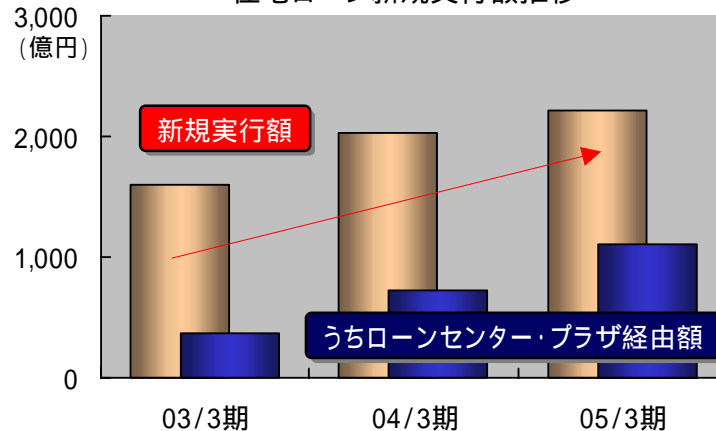
住宅ローン残高と貸出金に占める割合



新設住宅着工戸数



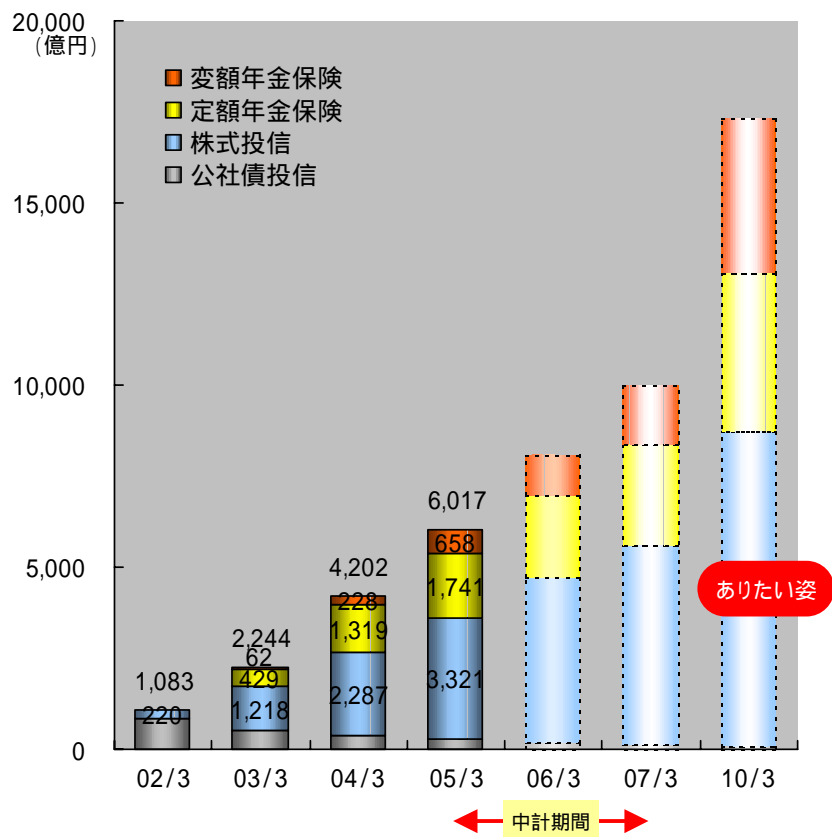
住宅ローン新規実行額推移



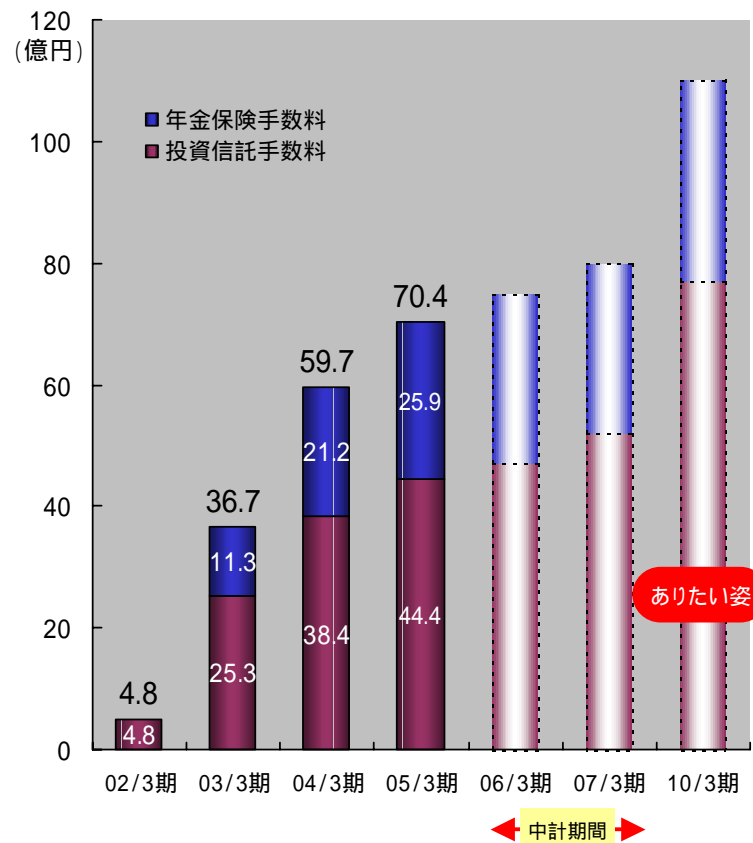
投資型金融商品

手数料収益の拡大に寄与

投資信託残高・年金保険販売累計推移

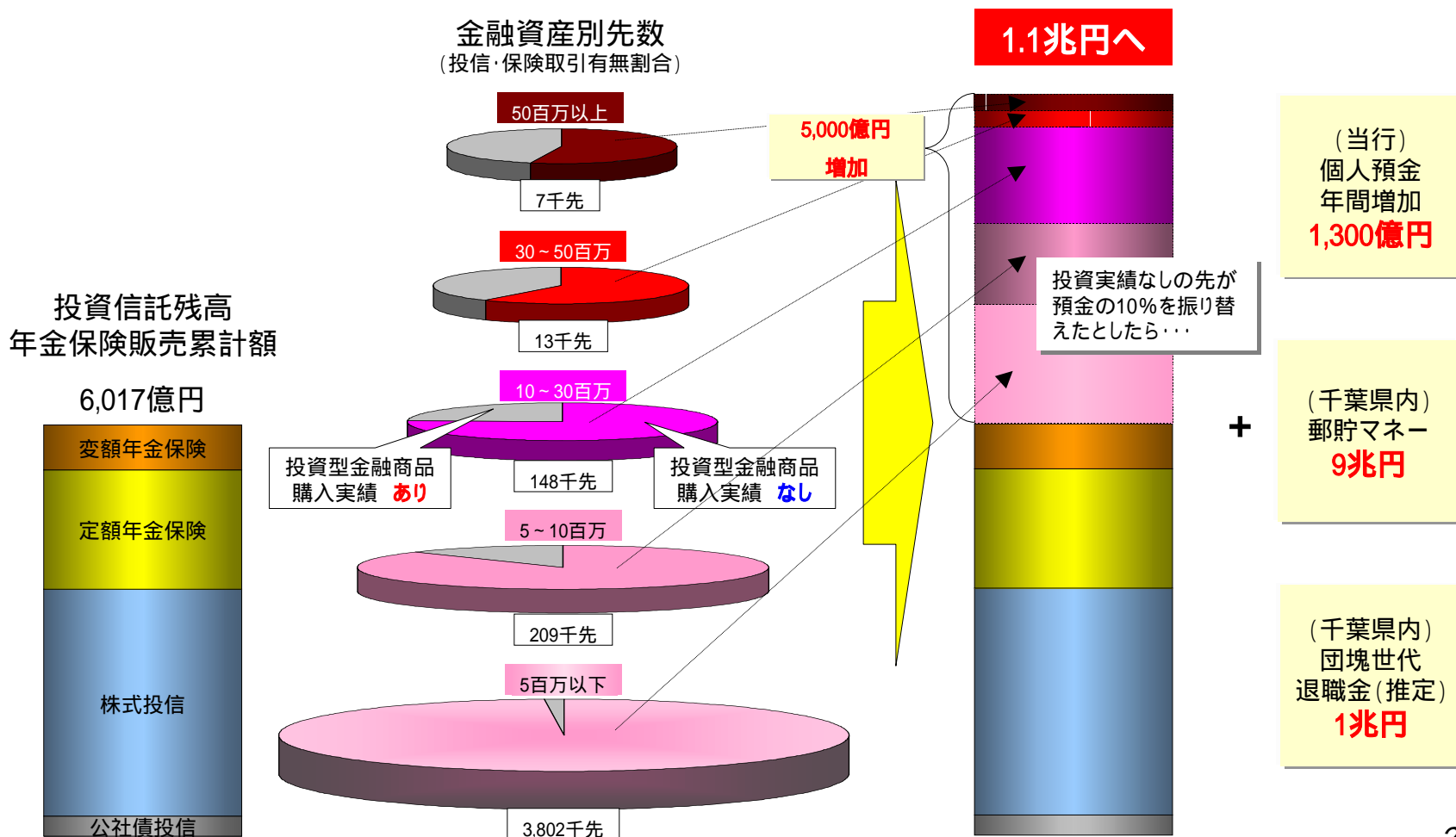


投資信託・年金保険 手数料収入



投資型金融商品の成長に向けて

浸透率の向上、新たな資金の取り込みにより更なる拡販を図る



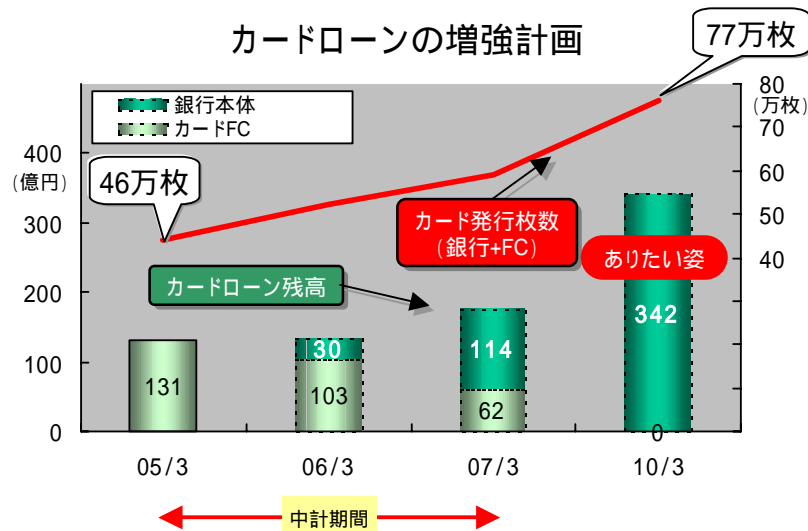
クレジットカード

マス層への訴求により顧客基盤の強化・収益の拡大を目指す

ちばぎんスーパーカード05年4月取扱開始



カードローンの増強計画



- ATM利用手数料の無料化
- 一定の取引を条件に年会費無料化
- 各種ローン金利の優遇

将来の収益基盤となる若年層の強化

- ショッピング(リボ払い・分割)
- カードローン
- 銀行商品とのクロスセル

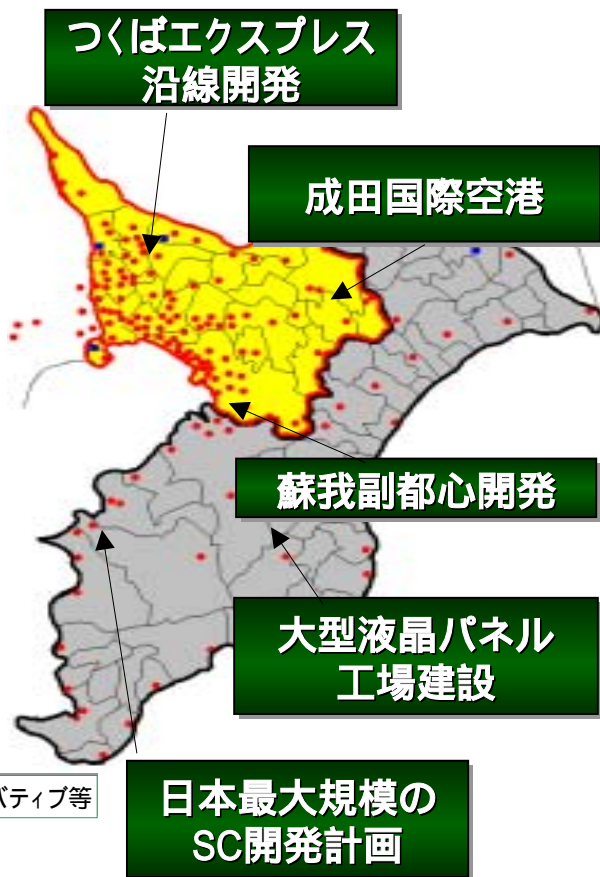
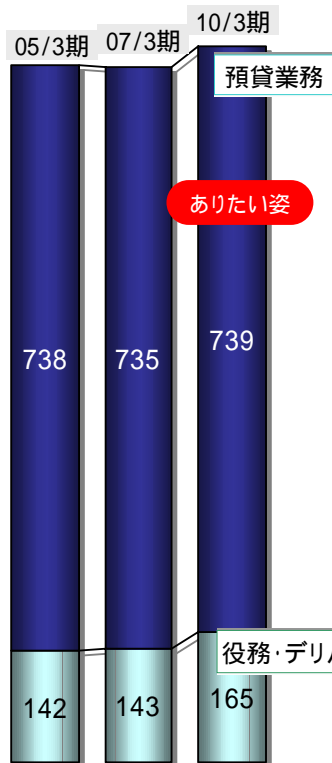
個人部門における収益の拡大

法人部門

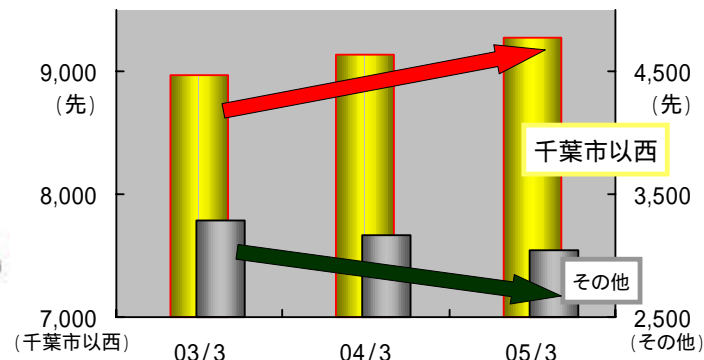
迅速なトータルソリューションの提供

法人部門業務粗利益内訳

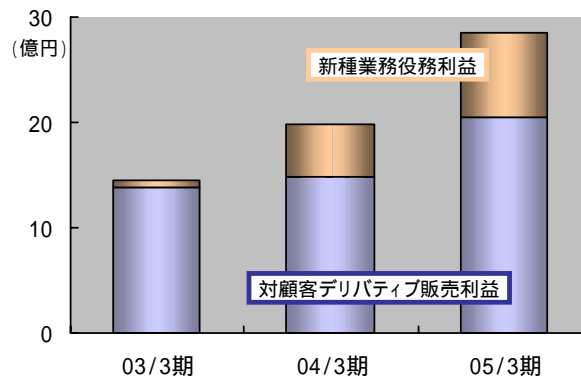
(億円)



中小企業融資先数推移
(残高30百万円以上)



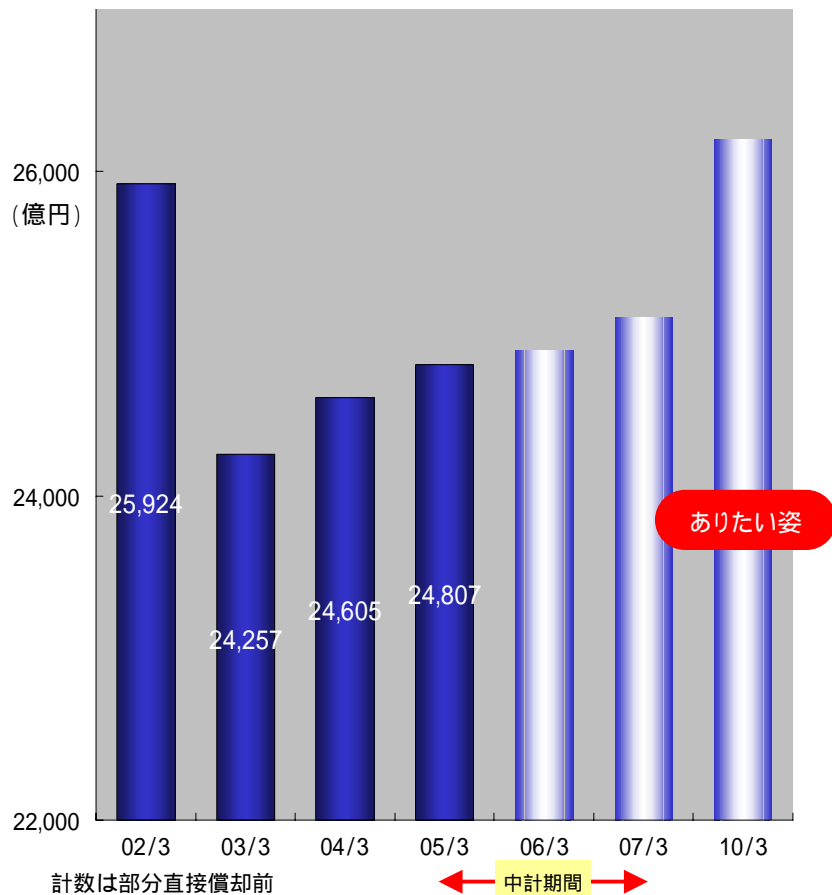
法人向け新種業務利益



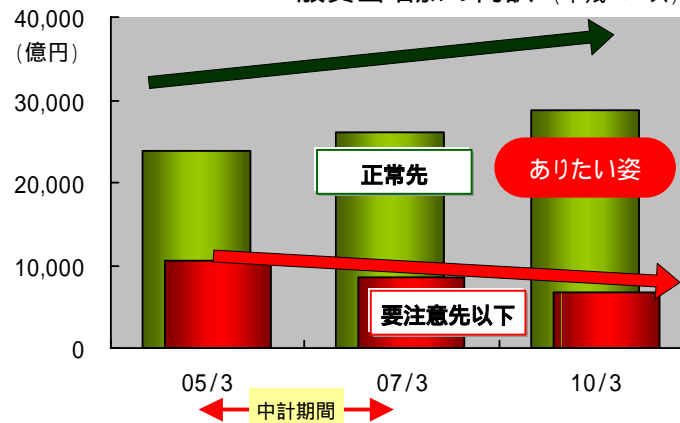
貸出業務

中小企業向け貸出は増加

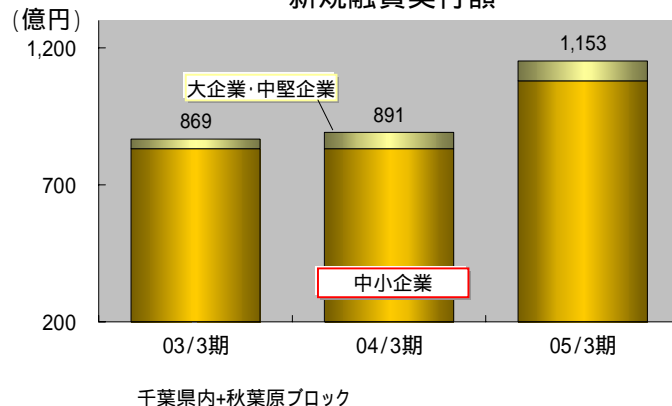
中小企業向け貸出残高



一般貸出増加の内訳 (平残ベース)



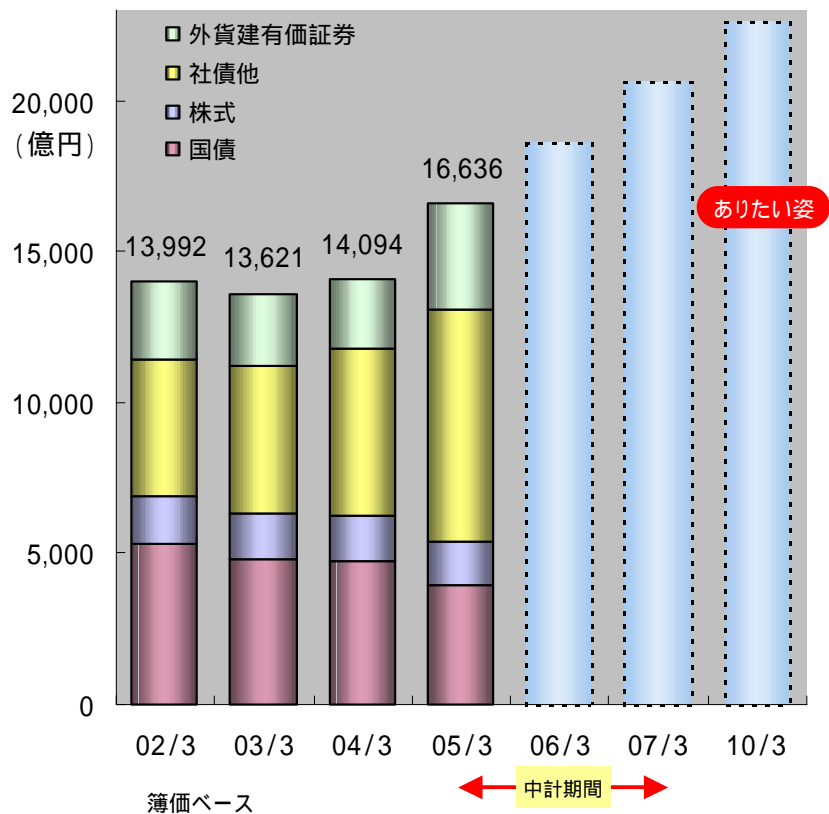
新規融資実行額



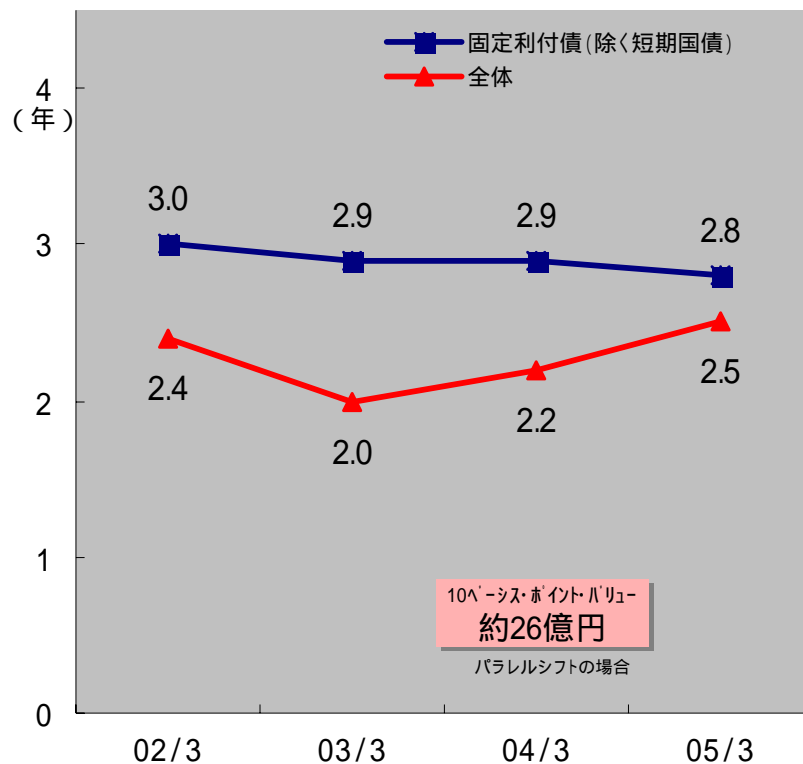
マーケット部門

マーケット運用力の一段の強化を図る

有価証券残高推移

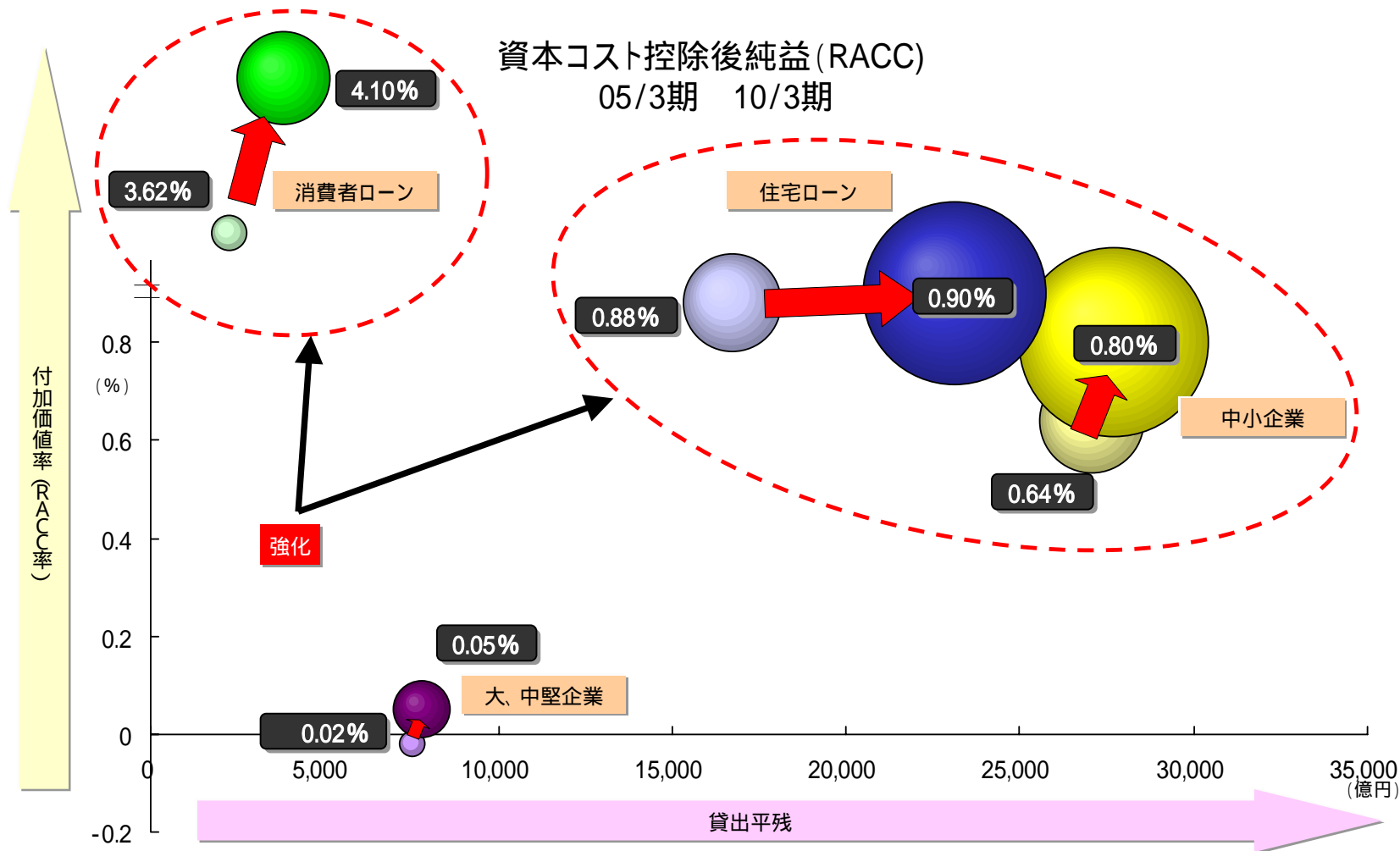


円債の平均残存期間



価値創造へ向けて

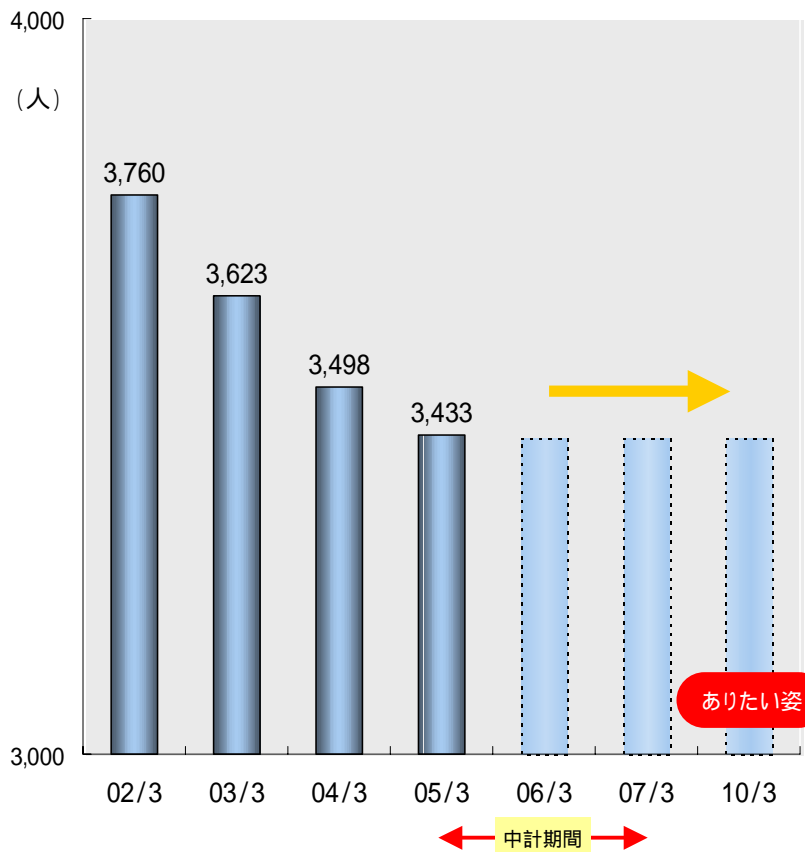
ありたい姿に向けて付加価値率の向上を目指す



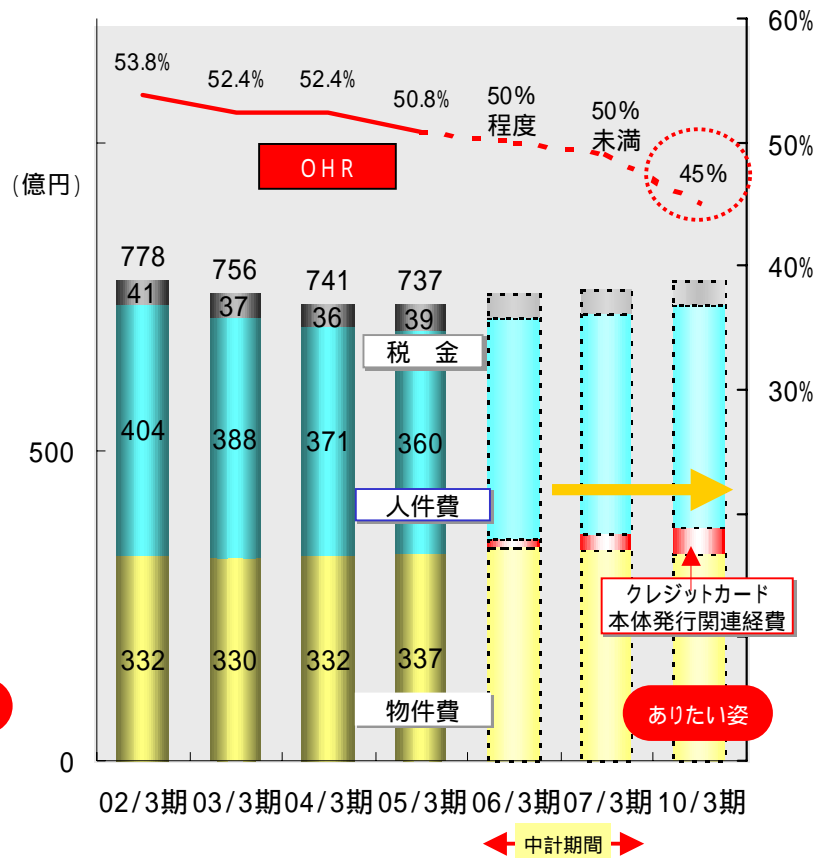
経費の削減

スリムで強靱な経営体質の維持

職員数
(除く出向者)



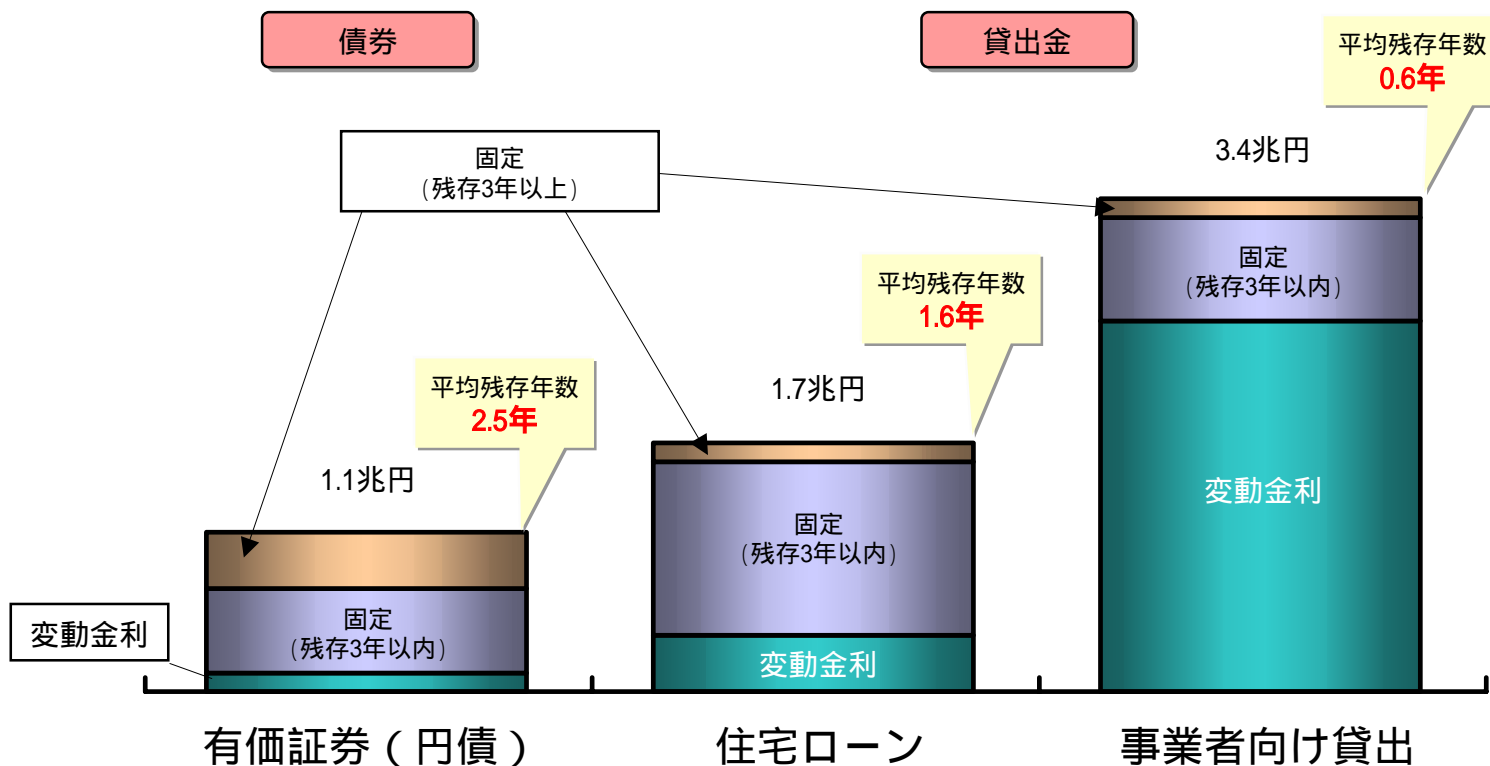
OHR・経費



金利上昇リスクへの備え

金利上昇に強いポートフォリオを構築、収益へのマイナスの影響は限定的

貸出金・債券金利種類内訳(05/3末)

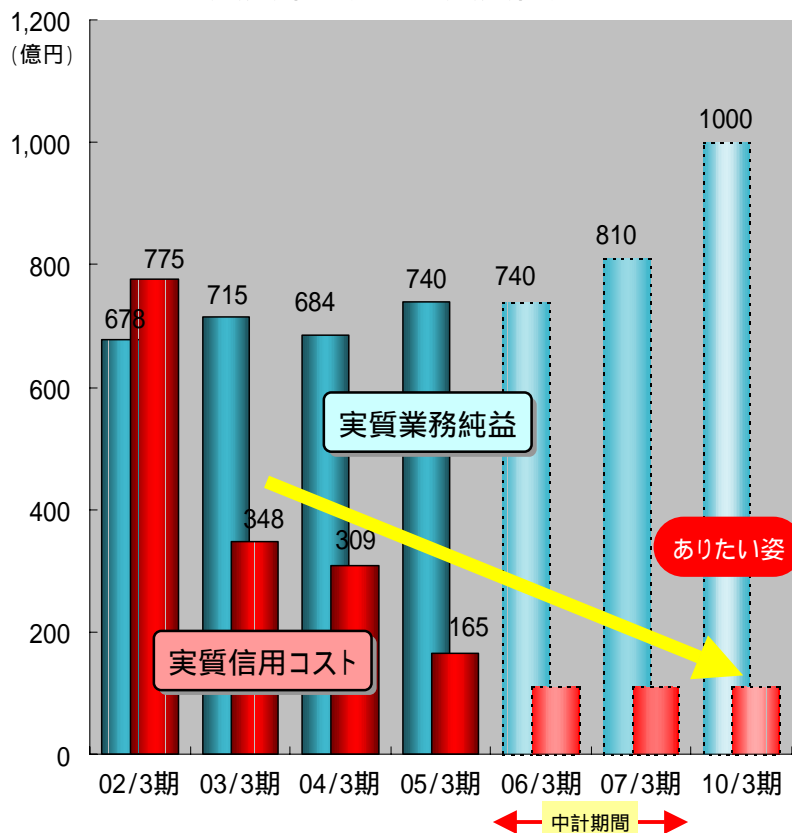


残存期間は金利更改日ベース

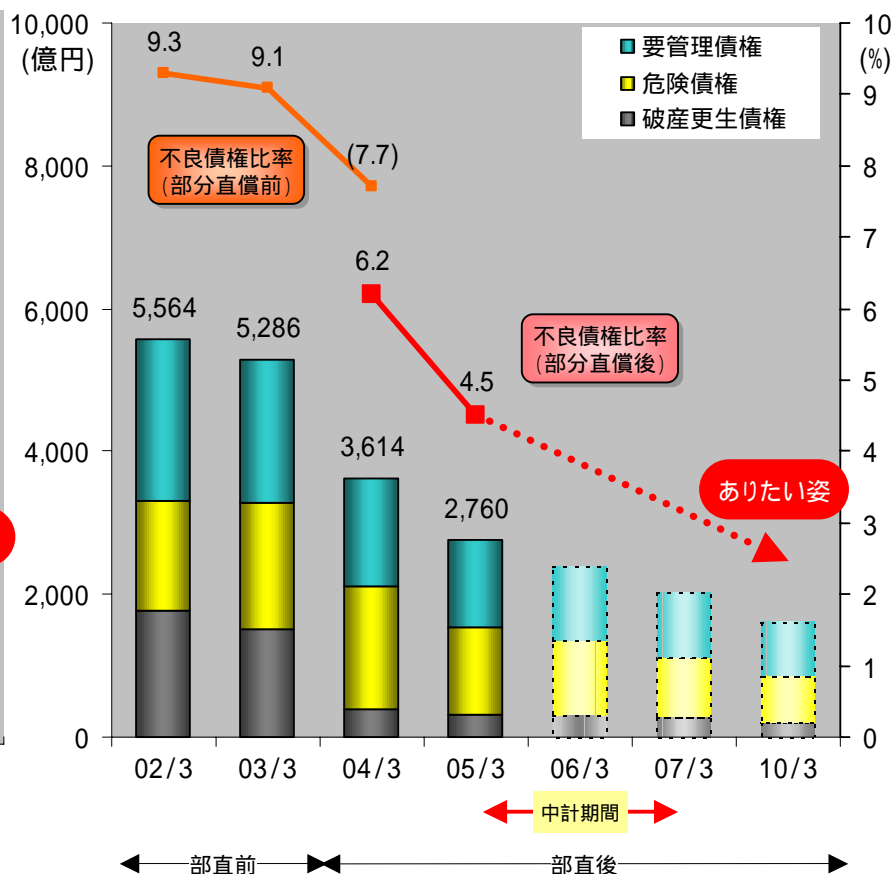
不良債権問題への取組

実質信用コスト・不良債権は大幅に減少

実質業務純益と実質信用コスト



金融再生法開示債権残高・比率



健全な財務体質の維持・向上

利益の積上げによりTier 比率8%の早期実現を図る

連結Tier 比率

